

# 岩中だより

令和3年度 第2号  
令和3年6月18日  
岩国市立岩国中学校発行  
TEL 43-4400  
FAX 43-3395

## ○小中一貫教育目標

「志高く、たくましく生き抜く『いわくにっ子』の育成」

## ○学校教育目標

「ふるさとに誇りをもち、未来を拓く『力と心』を身につけ、共によりよく生きようとする生徒の育成」

## ○チャレンジ目標

「思いをカタチにする学校 ～『岩中プライド』、時を守り・場を清め・礼を正す～」

## 梅雨入りしています

今年の山口県の梅雨入りは、昨年よりも26日も早い5月15日だったそうです。このことは、統計史上2番目の早さだそうです。6月に入ってから、しばらくの間はよく晴れていて、夏本番を思わせるような暑い日が続いていましたが、最近は灰色の雲が空を埋め尽くすことも増え、梅雨に入っていたことを思い出させてくれます。

令和3年度がスタートして2ヶ月あまりが過ぎました。この間、多くの学校行事が行われ、生徒たちが様々な場面で活躍する姿を見ることができました。他県においては、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止措置がとられ、山口県においても感染症拡大防止集中対策が行われています。学校に関わるほぼ全ての活動では、手指の消毒や検温、マスクの着用など基本的な対策を徹底しつつ実施されています。



・中間テスト



・自然教室



・春季県体

さて、先日の全校集会で、防災の話をしました。今年の5月20日から避難情報に関する内容の一部が変更されたためです。避難情報は、1～5の5段階のレベルがあります。レベル5の段階では、命に係わる大変危険な状態であり、安全に避難することもできない状況です。レベル4の「避難指示」が発令された場合、対象地域にいらっしゃる方は、安全な場所に避難する必要があります。なお、従来発令されていた「避難勧告」は廃止されて、「避難指示」に統一されたそうです。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。日頃から避難場所や防災について、ご家庭において話題にさせていただけたらと思います。詳しくは、裏面のパンフレットをご覧ください。

現在、岩国市においても高齢者を中心に新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種が進むとともに、接種年齢が12歳まで（中高生も対象に）引き下げられたとも聞きます。一刻も早い感染症の収束を願うとともに、甚大な自然災害が起こることがないように、しっかり

備えをしておきたいと思います。ちなみに、今年の梅雨明けの予想は、例年並の7月下旬だそうです。



・全校集会



・教育実習



・ペンキ塗りボランティア

○お知らせ

・岩国中学校では、ホームページを開設しています。生徒の活動のようすや学校の取り組みなどを随時お知らせしています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/iwakuni-j/>



学校HP用QRコード

・学校からの緊急連絡や不審者情報などをメールで配信しています。登録者数がもうすぐ100%になります。災害等の緊急時に効果を高めるため、「岩中安心メール」への全保護者の方の登録をお願いします。

【iPhone版】



【Android版】



**令和3年5月20日から**  
ひなんしじ  
**避難指示で必ず避難**  
ひなんかんこく  
**避難勧告は廃止です**

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ警戒の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待つはいけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

「避難」って何すればいい？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

行政が指定した避難場所への立退き避難

安全な親戚・知人宅への立退き避難

安全なホテル・旅館への立退き避難

屋内安全確保

普段からどう行動するか決めておきましょう

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- 1 家屋倒壊等危険想定区域に入っていない(入っていないと...)
- 2 浸水深より居室は高い
- 3 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと...)

※◎家屋倒壊等危険想定区域や◎水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。  
 豪雨時の屋外の移動は最も危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況を十分に確認して下さい。